

Community Connection

地域の仲間にサポートを

“私たちをいつも支えてくださっている地域の皆さまへお返しをする義務がある”。私たちのすべての活動は、マクドナルド創業者であるレイ・A・クロックのこの言葉を原点とし、コミュニティの一員として子供たちの幸福な未来、そしてお客様や地域・社会の皆さまの笑顔を第一に考え取り組んでいます。

子供たちの「食」「体」「心」を育む支援活動や地域貢献活動など、幅広い取り組みを積極的に行っています。



ドナルド・マクドナルド・ハウス支援

マクドナルドは共に助け合う社会を目指したチャリティ文化の醸成と「ドナルド・マクドナルド・ハウス（以下DMHC）」の支援などを通じて“病気の子供とその家族”を笑顔にする活動に取り組んでいます。

DMHCは、自宅から遠く離れた病院に入院する子供とご家族のための滞在施設です。“第二のわが家”をコンセプトに病院のすぐそばに建てられており、2022年10月に開設した「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」を含め、2022年12月現在、全国に12カ所あります。日本マクドナルドはハウスを運営するドナルド・マクドナルド・ハウス財団を設立当初から継続的に支援しており、全国すべての店舗に募金箱を設置するなど、多くの方たちが気軽にチャリティに参加いただけるよう取り組んでいます。より多くの方にDMHCを知っていただき、支援の輪を広げるための広報活動を実施しており、2021年からはテレビCMを展開しています。



ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンHP
<https://www.dmhj.or.jp/>



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/dmhj/>

DMHC支援

店頭募金、募金付きクーポンによる募金

総額約 **12,369** 万円

お寄せいただいた募金は、すべてドナルド・マクドナルド・ハウス財団へ寄付させていただいており、ハウスの運営や建設などに使われています。



ふちゅうハウス
利用者
佐藤 奈津さん

息子は生まれた時から何度も入退院を繰り返して、これまでたくさんのお手術を受けてきました。ハウスは病院の敷地内にあるので、入院中の子供と長い時間一緒に過ごすことができ、大きな安心感につながっていました。ハウスボランティアの皆さんは、病院からのケアではカバーされない面を温かくサポートしてくださいました。私にとってハウスは「第二のわが家のような存在」で、感謝しかありません。何か恩返しができないかと考えてチャレンジしている東京マラソンのチャリティランナーでは、一緒にハウスを応援してくれる仲間が年々増えていることを実感しています。

マックハッピーデー “青いマックの日”

各国のマクドナルドがその国の子供たちの幸せを願い、長年展開しているグローバルチャリティ活動、マックハッピーデー。ハッピーセット®のご購入1つにつき50円を、ドナルド・マクドナルド・ハウス財団へ寄付しています。

2022年はDMHC支援のテーマカラーである青を掲げ、「青いマックの日」として11月6日（日）に開催しました。店内装飾からペーパーバッグ、クルーの着用するマスクやTシャツまでを「青」に変えて、DMHCへの支援を呼びかけ、多くの方たちにチャリティへご参加いただきました。

モバイルオーダーからの募金

店頭募金だけではなく、マクドナルド公式アプリ内の「モバイルオーダー」からもDMHC募金にご協力いただけるようになりました。

※クレジットカード決済限定

スポーツを通じた募金活動

DMHC支援に賛同してくださる地域に根ざしたスポーツチームや選手の皆さんと連携し、共に募金活動を行っています。

Community Connection

キッズスポーツ支援

これからの将来を担う子供たちの心と体の健全な成長を願って、スポーツを頑張る子供たちを支援しています。



学童野球

高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント

“小学生の甲子園”とも称される歴史ある大会を、マクドナルドは1986年からサポートしています。2022年の全国大会は、3年ぶりに明治神宮野球場で開会式が実施され、全チームによる入場行進が行われました。また始球式では元メジャーリーガー・上原浩治さんが登場し、選手たちに向けてエールを送りました。2022年も支援活動の一環として、小冊子『野球プレイヤーブック2022』を大会登録チームに所属する選手43万人に配布しました。

高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント



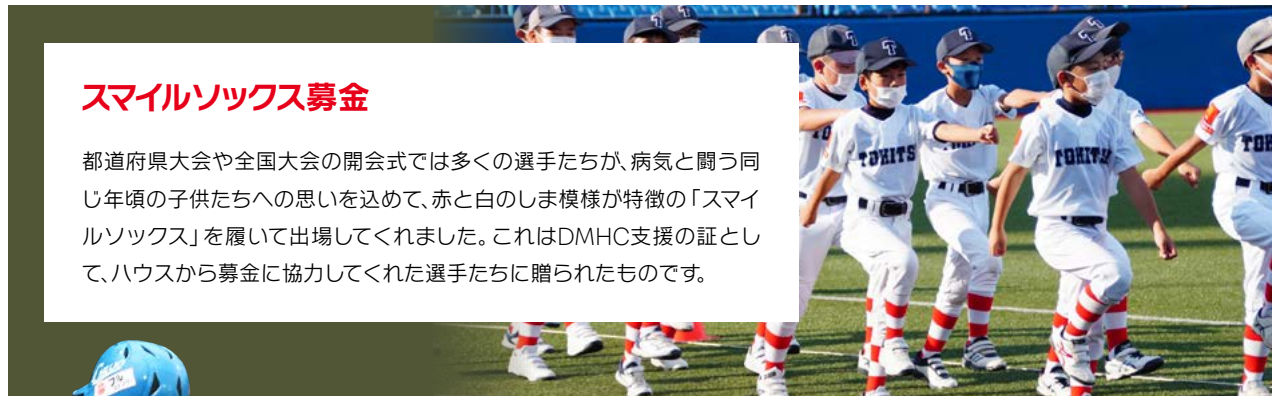
<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/baseball/>

全国約 **10,000** チーム

支援児童約 **43** 万人

スマイルソックス募金

都道府県大会や全国大会の開会式では多くの選手たちが、病氣と闘う同じ年頃の子供たちへの思いを込めて、赤と白のしま模様が特徴の「スマイルソックス」を履いて出場してくれました。これはDMHC支援の証として、ハウスから募金に協力してくれた選手たちに贈られたものです。



小学生のサッカー

JFA 全日本U-12
サッカー選手権大会



12歳以下の選手で構成される全国のチームが出場を目指し、数多くのプロサッカー選手や日本代表選手を輩出している日本最大規模の小学生サッカー大会を、2011年からサポートしています。また2022年も支援活動の一環として、小冊子『サッカープレイヤーブック2022』を大会登録チームに所属する選手36万人に配布しました。

JFA 全日本U-12
サッカー選手権大会



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/soccer/>

全国約 **8,200** チーム

支援児童約 **36** 万人



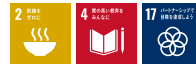
元サッカー日本代表
北澤 豪さん

「試合に勝ちたい」「憧れの全国大会に出たい」、子供たちがこうした目標をもち、日々の練習を頑張ることは、人として選手として大きな成長をもたらします。時に勝ち負けだけにフォーカスされがちですが、チームワークが必要とされるスポーツは、仲間を信じ、互いに切磋琢磨しながら、相手を思いやる心も育まれ、礼儀やコミュニケーションの大切さも学べます。子供たちの笑顔と成長のために、同じ想いをもって取り組んでいるマクドナルドさんとは、サッカーやDMHCの支援で、長年一緒に活動させてもらっています。

Community Connection

教育支援

子供たちの笑顔をより豊かにするために、様々な学びの機会を提供しています。



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/>



食育支援

子供たちに楽しく食べる喜びや食に関する正しい知識と習慣を伝えたい。2005年に開発した小学生向けオリジナル教材「食育の時間」からはじまり、以降、「食」を提供する企業の責務として継続して教育現場の食育授業を支援しています。

現在ウェブサイトで公開している「食育の時間+（プラス）」は、正しい手洗いや衛生管理、SDGs教育にもなる食品ロスなどを含む、食にまつわる7つの基本が学べる教材となっています。先生方をサポートする食育授業支援事務局では、本教材の指導案冊子の配布や教具の貸出、デモンストラーション型の研修なども行っています。

家庭でも食育を学ぶ機会を増やしていただきたいと考え、夏休み期間には「自由研究特設サイト」を公開しています。本教材を活用して完成できる自由研究フォーマットや生活習慣絵日記、パッケージを使った工作動画などを提供しています。

オリジナル教材
「食育の時間+（プラス）」を
通じた食育授業支援

教材を使った
授業・指導実施回数

のべ**9,207**回

※2022年12月末現在

受講児童・生徒数

のべ**292,111**人

※2007年1月～2022年12月末までの判明数累計



NPO法人企業教育研究会
理事長
千葉大学教育学部 教授
藤川 大祐さん

食育基本法が施行された2005年から、マクドナルドさんの食育の時間プロジェクトに参画、17年にわたって共に教育現場における食育支援に取り組んでいます。特に体が形成される成長期の子供たちにとっての食育は重要で、学校、家庭、地域、企業など、様々な立場の大人が協力して携わる必要があると考えています。科学的な知識や考え方を楽しく学ぶことができる「食育の時間+」を通じ、子供たちが食への関心を高め、自らが食を選択し、生活習慣を整えていく力を身に付けていくことを願っています。



SDGs教育支援

子供たちが環境問題に対して「自分に何ができるのか」を考える機会につなげてほしいという願いを込めて、小学校高学年を対象に、近隣の店舗で働くクルーが講師を務めるSDGs授業を一部地域で実施しています。授業では「マクドナルドの環境保全の取り組み」の紹介や、「地球のためにできること」について、児童らによるアイデアの発表を行います。



ハロードナルド!

未就学児と小学校低学年を対象として、子供たちの日常生活に必要なルールやマナーを伝えるプログラムを実施しており、従来の「交通」「防犯」に、2022年からは「SDGs」も加わりました。訪問またはオンラインで、ドナルド・マクドナルドと一緒に分かりやすく楽しく学ぶことができます。



Community Connection

地域貢献活動

「あなたの街と共にあるマクドナルド」として、
安全で安心な活気のある街づくりを目指した地域貢献活動を行っています。



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/>

子育て支援

国と地方自治体が推進する「子育て支援パスポート事業」に協力しており、各都道府県が発行している「子育て支援パスポート」を全国のマクドナルドでご提示いただくとチーズバーガーのハッピーセット®を特別価格でお召し上がりいただけます。

※朝マックの時間帯（10:30まで）は「チキンマックナゲット®」のハッピーセット®を特別価格でご提供

子育て支援における
ハッピーセット販売数
737,869セット



栄養バランスに配慮して
選べるサイドメニューを増やしました

美化活動

全国各地の店舗で継続した地域美化の活動を実施しています。また、行政や市民団体主催の清掃活動にも積極的に参加し、地域の皆さまと共に、美しい街づくりに努めています。



安全安心を守る取り組み

子供たちの安全を守るため、地域の警察本部等と協力し、子供が危険や困ったことに直面した際などにマクドナルド店舗に駆け込んで助けを求めることができる「こども110番の家」の活動を推進しています。また、全国交通安全運動の期間などには、各警察本部とコラボレーションした交通安全や地域の安全安心につながる動画を制作して、店舗のデジタル掲示板を通じて地域の皆さまに呼びかけを行っています。地域の見守り活動の一環として、兵庫県内の店舗ではマックテリバリーバイクによる「こども110番のバイク」としての活動を継続しています。全国の新小学1年生に2022年も「安全笛」を地域の教育委員会や警察本部等を通じて配布いただきました。ほかに、も子供たちが危険から身を守る方法を学ぶ「防犯教室」や「交通安全教室」を地域の警察と連携して開催しています。



「こども110番の家」実施店舗数

2,450店舗

安全笛贈呈数

815,450個

